

## 「まえばし暮らしテック推進事業コンソーシアム」への参画について

東京海上ディーアール株式会社(代表取締役社長:嶋倉 泰造)は、群馬県前橋市が実施主体である「まえばし暮らしテック推進事業コンソーシアム」に参画し、本事業に係る市民向けサービス提供事業者のサイバーリスク評価を実施いたします。各事業者のサイバーセキュリティ対策状況の把握および問題点の指摘を通じ、各サービスに係る適切なサイバーセキュリティ対策の実装を支援し、前橋市民の皆様が安心してサービスを利用できるようサイバーセキュリティ強化に貢献します。

本事業は、内閣府が推進する「デジタル田園都市国家構想推進交付金(TYPE3)」の採択を受け実施するものです。

### 1. 背景

本事業の推進主体である群馬県前橋市は、2016年に「めぶく。」というまちづくりビジョンを掲げ、市民によって育まれる共助型未来都市、一人ひとりが Well-Being でいられる街「デジタルグリーンシティ」を目指し、リアルとデジタル両面で魅力的なまちづくりを推進しています。その中で、交通や介護等の生活のベースとなる部分の高度化や、文化芸術をより深めて身近にするような自己実現・自己超越に向けた取り組みが求められるなど、単一の課題に特化するのではなく、あらゆる生活やニーズへの対応が「地方中核都市ならではの課題」として浮かび上がっており、地域全体で「個人情報やデータの連携」が必要となっていますが、安全・安心面や利便性の課題から、実態として連携は限定的となっています。

今年度、同市の「まえばし暮らしテック推進事業」が、内閣府が推進する「デジタル田園都市国家構想推進交付金(TYPE3)」に採択されたことを受け、地方中核都市の抱える課題やジレンマを解決できる、全国の地方中核都市のモデルとなるような先駆的取り組みの実装、展開を目指す取り組みが行われることとなりました。本事業は、複数の事業者から構成される「まえばし暮らしテック推進事業コンソーシアム」※によって推進いたします。

※「まえばし暮らしテック推進事業コンソーシアム」が実施する取組と事業者は、前橋市ホームページを参照ください。

(<https://www.city.maebashi.gunma.jp/soshiki/seisaku/mirainomesozo/gyomu/6/34736.html>)

### 2. 事業概要

本事業では、暮らしのあらゆる局面において、データ連携と最先端の技術によりデジタルで社会課題を解決【テック】する「暮らしテック推進」を通じて、地方中核都市の先駆けとなるモデルの実装を目指します。同市独自のデジタル個人認証「めぶくID」および「データ連携基盤」を構築することで、市民の皆様は本IDを通じて、スマートフォン上で自身のデータを特定のサービス提供事業者限定して使用許諾(オプトイン)することができるシステムを実装します。本システムを利用することで、市民の皆様は、個人向けに最適化された様々なサービスを受けられたり、地域のイベントに参加したりできるようになるなど、データ連携基盤を通じ

て官民間わず幅広い用途で最適化されたサービスの提供を受けることができるようになります。なお、今年度は、教育、子育て、健康情報活用、交通、文化・芸術・自然環境に対する行動変容促進等のサービス領域に注力いたします。

### **3. 当社の取り組み**

本事業において、弊社は市民向けサービス提供事業者に対するサイバーリスク評価を実施いたします。各事業者のサイバーセキュリティ対策状況の把握および問題点の指摘を通じ、各サービスに係る適切なサイバーセキュリティ対策の実装を支援し、市民の皆様が安心してサービスを利用できるよう、サイバーセキュリティ強化に貢献いたします。本評価に際しては、スマートシティセキュリティガイドライン第 2.0 版をベースに作成した独自のアセスメントシートを用いて、評価を行っております。将来的には、東京海上日動火災保険株式会社と連携し、本リスク評価を活用した補償制度の構築を目指します。

今後ますます進展が予想されるスマートシティに関するサイバーリスク評価の知見を蓄積し、社会課題解決に貢献すべく今後も取り組んでまいります。

以上